

## 会議結果報告書

1. 会議名 令和4年度 第3回 印西市環境推進市民会議
2. 日時 令和4年7月15日(金) 9:30~11:30
3. 場所 市役所会議棟 204 会議室
4. 出席委員：岩井会長、白川委員、川井委員、小山委員、関根委員、橋本委員、平林委員、  
福井委員、村形委員、山崎委員、吉村委員、渡辺委員  
事務局：環境保全課 飯島課長、岡本課長補佐、海老原保全係長、清田主査補
5. 傍聴者 0名
6. 配布資料
  - ・会議次第
  - ・資料1 令和4年度印西市環境推進市民会議 視察研修計画(案)
7. 内容
  - (1) 開 会
  - (2) 会長挨拶
  - (3) 議 事
    - ①視察研修について
      - 視察研修について事務局より説明—
      - 会 長：今の説明について質問等があればお願いします。
      - 委 員：服装について、スズメバチが出ているため、黒の服装と匂いのついたものは避けるということをお願いしたい。スズメバチが出た場合は、その場にとどまるかゆっくり後退することを注意喚起したい。白っぽい色の長袖長ズボンと長靴が良い。
      - 会 長：当日はホタルを確認できるのか？
      - 事務局：日中のため、当日確認することはできない。また、事前の事務局からの情報では、自然発生を継続するには至っていないということを聞いている。
      - 委 員：どのようにしてホタルが棲みつく環境を作れるかということ視察するのが目的である。
      - 委 員：印西市もホタルの保全に向けて取り組んでおり、参考になるのではないか。
      - 委 員：コロナの影響により中止になる場合もあるのか。
      - 事務局：先ほど説明したとおり、中止もしくは延期の可能性もある。
      - 会 長：はたるの里について賛成ということで良いか。良ければ、続いて、北総クルベジについてご意見があればお願いします。
      - 会 長：なぜここが案として出たか改めて伺いたい。
      - 委 員：生態系保全、脱炭素の両方につながる取組として提案させていただいた。J-クレジットにつながる取組としても注目されている。

会 長：墨として地に還元することにより、CO<sub>2</sub>を減らす一つの手段となるということで、国も認めており、私としても関心がある。

委 員：新しいクリーンセンターの建設が予定されているが、この取組については、クリーン推進課の職員にも見ていただきたい。

会 長：この件について、他に意見がなければ、今回の視察先と決定したい。

委 員：東京電力については、時期をずらせば可能ということか。

事務局：お盆の時期でなければ対応可能と聞いている。現地に行かなくても、会議室などで説明していただくことも可能かと思われる。

委 員：興味があるため、先方が可能であれば、そのような場をご検討いただきたい。

## ②環境基本計画の推進について

事務局：前回の会議に引き続き、環境基本計画の重点的の取組1～3につながる内容で、市民会議として実施できる取組について案を出していただきたい。本日は、各グループで取組内容をまとめていただき、会議の最後に発表をお願いします。

会 長：それでは、これよりグループごとに取組の案をまとめていただき、最後に発表の時間としたいと思う。

### ーグループごとに取組の検討ー

会 長：これより、グループごとに発表していただきたい。「グリーンインフラ」グループから順にお願いします。

委 員：「グリーンインフラ」グループでは、取組を検討するにあたって、自然環境に関連する課題を整理した内容について発表する。課題については、4つのカテゴリーに分けて議論した。①動植物の現状（外来種の増加、ニホンアカガエル・ホタルなど希少生物の減少など）、②場所の問題（休耕田・耕作放棄地の増加、斜面林の手入れ不足、ナラ枯れなど）、③開発の問題（宅地化による雨水浸透の減少、浸透枿の条例化、合併浄化槽の増加など）、④人の問題（子どもと自然の触れ合い機会の減少、学校におけるグリーンインフラの教育機会など）の4分類で考えた。今回は課題を整理し、これらの対策として実施できる取組について今後検討したい。

会 長：今の発表について、質問等があればお願いします。なければ続いて「サステナブル」グループの発表をお願いします。

委 員：「サステナブル」グループでは、先日の会議で意見として出た「環境カレンダー」について検討した。できるだけコストを低減し、市の原風景をベースとし、環境に携わっているNPOなどの紹介を掲載したカレンダーとしたいと考えた。また、フードロス・海洋プラスチックなどの内容も掲載したい。来年1月からのカレンダーを作ることを目指したいと考えたが、月1回の会議では間に合わないため、ボランティアの有志で作成するというのを提案したい。誰にどういう形で配る

かという点については、広報いんぎの毎月1日号への折り込みやホームページ掲載による方法と考えている。これはサステナブルグループだけでなく、グリーンインフラや温暖化対策にも通じる内容と考える。

会 長：今の発表について、質問等があればお願いします。

委 員：1枚は1月分を想定しているのか。カレンダー部分には何かを記載するのか。

委 員：カレンダー部分はブランクにして各自自由に使えるようにすることを想定している。

委 員：各家庭で行える環境配慮行動を、実施したらチェックできるようにしてはどうか。

会 長：他になければ、最後に「カーボンニュートラル」グループの発表をお願いします。

委 員：カーボンニュートラルに向けて、何をしていくかが市民として大事になってくる。取組としては、①電気自動車の一般化、②自然エネルギーで電力を発生させる、③開発による緑の減少分と同規模の植林を行う、④温暖化対策の委員会設置（具体策・実行計画を作る）が挙げられる。

委 員：水素自動車などもあるが、やはり電気自動車なのか。

委 員：充電設備の設置コストや実現可能性なども踏まえると、水素の普及は難しい。

委 員：環境基本計画には「次世代自動車」と表現されており、ハイブリッド自動車なども含めていることから、導入コストなども考えると電気自動車に限定しなくても良いのではないか。

委 員：市民に電気自動車が一般的に普及して欲しいと考えている。

事務局：今出た様々なアイデアやご意見については、参考にさせていただきたい。今回、市民会議の皆様が主体となって取り組んでいただけるものを検討いただいているが、何をやっていきたいか決まった際には、市として予算などを検討させていただきたいと考えている。一つのテーマに絞るのかなども併せてご検討いただきたい。カレンダーの件について、1月はじまりのものではスケジュール的に難しい印象があるが、持ち帰り事務局で検討させていただきたい。

委 員：カレンダーを作成するという事に賛同いただけたということで良いか。

事務局：来年の1月が間に合わずとも、来年度なども可能と考える。

委 員：毎月1回の会議では難しいため、プロジェクトチームを立ち上げたいと考えているがいかがか。

委 員：予算について具体的に示してほしい。また、カレンダーについては、全員がOKであれば賛成したい。

委 員：プロジェクトチームを作るということについてはいかがか。

委 員：もう少し慎重に検討しても良いのではないか。広報への折り込みであれば、時期は問わないため、4月はじまりなどでも良いと考える。

会 長：時期や予算など、事務局で具体的に方法を示してほしい。

事務局：持ち帰らせていただき検討させていただきたい。

委員：皆様に前向きに賛同していただけるのであれば、プロジェクトチームとして、この場で手を挙げていただける方を募っても良いか。

委員：全員が賛同して進めるとなれば、内容に意見を出したい人もいると思うため、今回の提案内容を具体的に示していただけるとありがたい。

会長：業者の手配やスケジュール、予算などについて、事務局に検討していただき、次回改めて話し合いを行いたい。カレンダーであれば、4月はじまりか1月はじまりになるかと思うため、すぐには難しいと思う。

委員：事務局からの回答を次回の会議でいただき、その上で、プロジェクトチームをどうするか検討してはどうか。

事務局：カレンダーの件については、会議の合意形成を図りたいため、後日ご意見・ご質問等があれば事務局までご連絡いただきたい。

### ③その他

—事務局 特になし—

委員：視察の件に戻るが、服装や持ち物については、案内をいただきたい。

委員：ほたるの里の現地視察については、往復徒歩になるのか。

事務局：大きいバスが入れないため、徒歩で移動することになる。

委員：雨天時はどうか。

事務局：雨天決行の予定だが、台風等荒天の場合は延期もしくは中止となる場合もある。

会長：本日の議事は全て終了したため、事務局にお返しする。

### (4)その他

—次回の会議開催予定、委員報酬について事務局より説明—

### (5)閉会

以上

令和4年度第3回印西市環境推進市民会議の会議録は事実と相違ないことを承認します。

令和4年8月22日

印西市環境推進市民会議 委員 渡辺 統之

印西市環境推進市民会議 委員 川井 正幸